

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 008	提案機関名 神奈川県農業経営士協会
要望問題名 効率的で安価な新たな有害鳥獣対策技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、有害鳥獣の被害は、県内の山間部はもとより、平野部にも拡大していて、その被害は大きく農業生産に影響し、農業所得を低下させる要因の一つとなっている。 檻による捕獲や、電気柵の利用による侵入防止対策に対する支援策はあるが、効果は限定的で、設置コストがかかることから、生産規模や作付け品目の選択肢が制限される生産者がいるなど、農業経営に大きな影響を与えている。 これらのことから、生産現場や生産者の設置負担が少ない、効率的で安価な新たな有害鳥獣対策技術の確立について検討いただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ☒ ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	☒ ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ☒ ④自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	農業技術センター 自然環境保全センター	担当部所	北相地区事務所 研究企画部
対応区分	①実施 ☒ ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) スイートコーンの簡易な鳥獣被害防止技術の実証			
対応の内容等 農業技術センターでは、令和5年度に上記試験研究課題を設定し、スイートコーンを対象に収穫期間限定で中型動物やカラスなど鳥獣被害防止技術の試験を実施しており、次年度も引き続き実施します。 なお、本提案は、農業被害軽減を主目的としていることから、農業技術センターのみで対応します。			
解決予定年限	①1年以内 ☒ ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			